

2022年
3



ちばさぽ通信

Vol.48

「ありがとう」と「よろしく」の交差点



シニア世代の地域活動促進セミナー



千葉市民活動フェスタ



市民活動交流サロン



ちばさぽ通信



市民活動ステップアップ講座

CONTENTS

● 事業&活動報告

- 「1階づくり」から楽しむ“まちづくり”@千葉
- まちなかボランティア養成講座

● ちばさぽの風 Vol.48

● 登録団体活動紹介コーナー

● CatchUp

● ちばさぽからのお知らせ

- コミュニティづくりコーディネート講座
- 次年度からの施設運営について
- 新年度ロッカー利用申請



市民活動掲示板

表紙の写真

千葉市民活動支援センターの事業

編集・発行

千葉市民活動支援センター

指定管理者：まちづくり千葉・リベルタちば・まちづくり商会共同事業体
〒260-0013 千葉市中央区中央 2-5-1
千葉中央ツインビル2号館9階

TEL：043-227-3081 FAX：043-227-3082

Mail：info@chiba-npo.net

Web：https://chiba-npo.net/

Facebook：https://www.facebook.com/chibasapo



〈開館時間〉

平日・土曜
午前9時～午後9時
日曜・祝日
午前9時～午後6時

〈休館日〉

年末年始
(12月29日～1月3日)



シニア世代の地域活動促進事業開催報告

1月29日(土)Zoomにて「1階づくり」から楽しむ“まちづくり”@千葉～パーソナル屋台ってなに?～を開催。株式会社グランドレベル代表取締役の田中元子さんを招いて、参加者40名の講座となりました。

- ・まちをつくるのは、クリエイターではなく、目の前のあなたたち・・・
- ・好きだからやる
- ・やってみないからはじめる
- ・個人が持つ小さな“やりたい”が、やがてまちを変えるかもしれない・・・

という講師の話には、参加者全員が引き込まれました。

その後のグループワークでは、

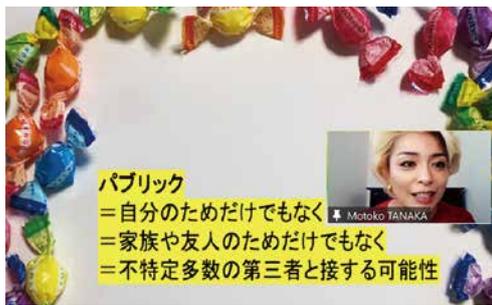
- ・一緒に何か始めましょう。・活動に参加させて下さい。
- ・今の活動に勇気をもたらした。・背中を押してもらえた。

と、出会った方たちの間で色々と化学反応がおき、早速準備を始めたグループもあるようです。

《参加者の感想から》

「ほんのちょっとした思いつきから始めればいいんですね」「考えていることを言葉にすることが大きな一歩だと思いました」「コミュニティカフェと銘打つと人は来にくくなるという視点、

目からうろこでした!」「あなたが楽しいことをやる!っという田中さんのお話、響きました!」



まちなかボランティア養成講座 5年間を振り返って

東京オリンピック・パラリンピック開催が決まったのを契機に、多くの方がボランティアに関心を持つようになりました。この機運を活かして、ボランティアをもっと身近に、誰もが「お手伝いしましょうか」と声をかけることができる「おもてなしの街ちば」を目指して、「まちなかボランティア養成講座」は始まりました。2017年からの5年間で20回の講義を行い、355名の方が受講しています。



2020年以降はコロナの影響を受け、入室可能な人数の削減など規制が多くなり、受講希望者の数も頭打ちとなったのは残念なことです。さらに影響を受けたのは実習で、地域のイベントが次々と中止となって、なかなか実習の場が得られず、せっかく講義を受けたのに実習を体験できない「待機中」の方が増えました。雨による中止などもあり、5年間で実施できた実習は26回ほど。こうした中、2回の実習を経てめでたく「修了証」を得られた方は79名に留まりました。実習は今後も引き続き折を見て開催し、修了者をひとりでも多く送り出したいと考えています。また来年度からは、形を変えてボランティアや地域活動関連の講座を開く予定です。



ミニコラム

ちばさぽの風 vol.48

市民活動に依存しない社会

“コロナ禍”が長く続いています。市民の生活に多大な影響を及ぼしていることは言うまでもなく、とりわけ、社会的弱者と呼ばれる層へのしわ寄せが増大しており、こうした問題に取り組む市民活動が広がりを見せています。市民活動団体に対する助成金も、新型コロナウイルス対策に係る活動に対象を限定したものがあり、社会全体で支援の動きが進んでいます。

また、大規模な自然災害が頻発し、人々の平穏な暮らしを脅かしています。近年、さまざまな形の災害ボランティアが定着し、被災者支援・被災地支援の大きな力になっていますが、もちろん、復興はボランティアの力だけでなし得るものではありません。

ここ最近、センターにはNPO法人や市民活動団体の立ち上げに関する相談が多く寄せられています。新規の団体登録も増えており、コロナ禍でありながら、地域や社会の問題を何とかしたいという思いをもち、自発的に動きを起こす人たちが多くいることを実感しています。一方で、休眠状態となっている団体も多くあるのが実態です。活発に活動していた団体の方が、頑張りすぎたのか(頑張らざるを得なかったのか)体調を崩してしまったという話を耳にしたこともあります。

市民活動は義務ではなく、自発的に始めるものなので、活動をやめること(休眠状態になること)自体は、誤解を恐れず言えば何も問題はありません。ただ前述のように、頑張りすぎて、体調を崩して活動を休止せざるを得なくなってしまったというケースは、ある意味問題がありますし、非常に心が痛みます。市民活動の支援とは、活動を活性化させることだと当たり前にも思っていたのですが、休止を進言することが支援になる場合があるかもしれないといったことを、最近感じています。

自然災害発生などの非常時には、一人でも多くの方がボランティア活動に参加することが望まれます。しかし、平時に多くのボランティアや市民活動団体が必要とされているとしたら、それは社会のあり様に問題が存在しているということかもしれません。抽象的ですが、ボランティアや市民活動団体に依存しない世の中が、理想なのではないかと考えます。市民活動は楽しいことばかりではないかもしれませんが、苦しさの方が勝るようでは本末転倒でしょう。社会が市民活動に過度な期待をし過ぎないことも、これからは求められるのではないのでしょうか。(は)



登録団体活動紹介コーナー

紙芝居トントン

活動エリア▶千葉市あるいは周辺地域
所在地▶千葉市
連絡先▶090-7255-6296(事務局) kh8fb2@gmail.com
担当者氏名▶清水 由美子



2021年5月にできたばかりの「紙芝居トントン」です。紙芝居が好きな人が集まっています。4月より、毎月第4火曜14時～15時半まで、通常は、千葉市民活動支援センターで、練習をしています。講師の方はいますが、指導をするというより、一緒に楽しみたいという先生です。気軽に、お好きな紙芝居を持参してください。見学も可。ご連絡ください。

千葉シニアアンサンブル・それいゆ

活動エリア▶千葉市内
所在地▶千葉市花見川区
連絡先▶080-1189-3179 chip0430_fuji@kbe.biglobe.ne.jp
担当者氏名▶藤山 光正

①熟年世代のふれあい②生涯学習③地域貢献を目的とするシニア楽団です。曲目は、クラシック、タンゴ、ポップス、映画音楽、唱歌や歌謡曲など。市内音楽ホールでの定期演奏会、および介護施設等への訪問演奏を行っています。太陽のごとく、ひまわりのような笑顔で皆さんの心に響く演奏を心掛けております。

今回は12月21日(水)
Xmasコンサート@千葉市民会館です。
どうぞお楽しみに！



リベルタちば

活動エリア▶千葉市とその周辺
所在地▶千葉市
連絡先▶090-7255-6296 izumic733@gmail.com
担当者氏名▶出納 いずみ

センターの事業企画を担って、ほぼ10年。「話し方」「プレゼンテーション」、田中元子さんを招いて「1階づくりから楽しむまちづくり@千葉」、中村桂子さん他で「住みたい千葉をめざして」を企画。長いようで、短かった10年間。走りました！皆様に感謝です。団体は、継続して自主的に活動します。4月10日には、「イントランスの時代」というTV番組の上映と交流会をZoom開催予定です。



[2018/2/24 「千葉市を元気にするフォーラム」より]

NPO法人千葉自然学校

活動エリア▶千葉県(千葉市・君津市・南房総市)
所在地▶千葉市・君津市・南房総市
連絡先▶043-227-7103 info@chiba-ns.net
担当者氏名▶山崎 大地

千葉県内における自然体験活動団体をつなぐネットワーク型の自然学校として、平成15年より活動を行っています。自然体験を通して、千葉県の里山・里海の保全と地域の活性化を目指しています。また、他団体との連携を強化した自然体験を実施しています。子どもを対象にしたキャンプやシニア世代向けの古道歩きなど多数イベントを予定していますので、ぜひHPをチェックしてみてください。



CatchUp

“活動部会”の取組紹介

「フェアトレードフェスタちば2022」開催決定！

複数の登録団体や異なる主体が連携し、共通の目的に向かって活動するのが“活動部会”。複数年にわたり継続的に活動をしている部会の一つである「フェアトレードちば」による取組(イベント開催)の情報をお届けします。

■イベントの概要

「フェアトレードフェスタちば」は、県内でフェアトレード活動を行う個人・団体が集まり、フェアトレード品の紹介や、団体の活動紹介などを行うイベントです。2009年より、世界フェアトレード月間でもある5月に毎年開催されていますが、2022年はオンラインとリアルの両方での実施が決まりました。

《日程および会場・方式》

2022年5月1日(日)～29日(日)=オンライン
2022年5月15日(日)10時～16時=きぼーる会場

《実施内容(予定)》

- 1) フェアトレード団体の活動紹介
- 2) フェアトレードクイズ
- 3) フェアトレード講座(オンライン配信予定)

■出展・協賛などの募集について

出展や協賛、公式認定企画の募集が4月15日(金)まで行われます。「きぼーる会場」での出展は18枠(団体)で、有料となります。協賛は物品でも受け付けます。各募集について詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

<https://www.ftchiba.net/syutten/>

☆お問合せ先(成瀬さん)

E-mail: fteventchiba@gmail.com
TEL: 070-2794-7575



ちばさぽ からの お知らせ

■ コミュニティづくりコーディネーター講座

「地域連携でまちづくり～地縁組織と志縁組織～」

地域には町内自治会や商店会、学校、NPOなど、特徴の異なる、さまざまな組織や団体が存在します。地域の課題を解決するには、これらの組織等が連携・協働することが欠かせませんが、お互いが知り合い、理解し合うための機会はまだまだ少ないのが現状です。



そこで、町内自治会と市民活動団体をつなげる取り組みに従事している講師をお招きし、「地域連携によるまちづくり」を推進することを目的とした講座を開催します。事例紹介を多く盛り込むほか、参加者どうしの意見交換等も行い、連携のイメージを深めます。内容に関心のある方は、所属や立場を問わずどなたでもご参加いただけます。 ※オンライン参加 (Zoomを利用) と、センターにお越しになっての対面参加のいずれかが選べます。

日 時 ▶ 2022年3月21日 (月・祝) 14:00～16:00

会 場 ▶ オンラインおよび千葉市民活動支援センター 会議室

講 師 ▶ 生越康治さん (熊谷市市民活動支援センター、(特非)NPOくまがや理事)

定 員 ▶ オンライン30名程度、対面8名程度 (いずれもお申込み先着順)

参加費 ▶ 無料

締 切 ▶ 3月18日 (金) 18:00

○お申込み方法 (すべての講座・事業共通)

千葉市民活動支援センターまで、メール、FAX、TELにて、以下の項目をご連絡ください。

- ①事業名、②お名前、③ご住所 (市区町村名まで可)、
- ④連絡先 (電話)、⑤所属団体 (あれば)

※オンライン講座ご希望の方は、メールで申込み下さい。

■ちばさぽ 次年度からも

引き続きよろしくお願いたします!

千葉市民活動支援センターはこの5年間、NPO・株式会社・任意団体とキャラクターの違う3つの団体が共同事業体を組んで、指定管理にあたってきました。皆さまのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。次年度からは「特定非営利活動法人まちづくり千葉 (略称: まちちば)」が単独で指定管理をお請けすることになります。

体制が変わっても利用にご不便をおかけすることがないよう、さらに使いやすい施設となるよう努めてまいります。「まちちば」は20年前、地域活性をめざす地元の若者 (当時) 等によって結成され、商店街や地域のイベント等に関わってきました。その活動の中でご縁ができ、千葉中央コミュニティセンターの1階で「市民活動センター」と呼ばれていた時代から、また「ボランティアズカフェ」にも関わるなど、ずいぶん長いお付き合いになりました。事務局スタッフもこれまでの経験を活かしながら、4月からはまた新たな気持ちで、施設の運営、地域活動や市民活動の幅広い支援に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



■ 新年度のロッカー利用申請について

2022年度 (4月1日から) のロッカー利用希望の申請を受け付けます。新規に利用をご希望の団体の他、現在利用中の団体も申請が必要となります。締切は「3月31日 (木)」です。「会議室等使用許可申請書」の使用日時欄ロッカーの所に2022年4月1日から2023年3月31日と記入し、使用施設等欄のロッカーに印を付けてメール・FAX・持参などにてご提出下さい。申請団体数がロッカー数 (84個) を上回った場合は抽選となります。定数まで申請がなかった場合は、4月1日から先着順にて空いている分の申請を受け付けます。現在利用中で2021年度中にロッカーの荷物の出し入れなどご利用のない団体のみなさまは、新年度の利用の有無をあらためてご検討の上、申請いただきますようご協力をお願いいたします。

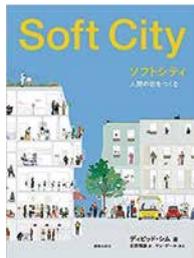


Soft City—人間の街をつくる

スウェーデンの都市デザイナー・建築家 ヤン・ゲールの本を、千葉大学名誉教授の北原理雄 (きたはら・としお) 先生が翻訳した、街づくりの本です。先生は当センターの登録団体「まちづくりちば市民の会」の会長でもあります。街と人の関わりを見る時、「通る人」がいくら多くても活気にはつながらず、街の活性化をつくり出すのは、そこに「居る人たち」なのだそうです。ベンチやテーブルを置いて、人が居ることのできる場所を作ると、街の表情が一変します。この話、先日「一階づくりから楽しむまちづくり」の田中元子さんにも通じる話のようですね。

人が車に押しつけられていた道に語らいの場が生まれ、

ちょっとした路地が居心地のいい空間に変貌。そんな実例のカラー写真をふんだんに入れた本書は、ちょっと高価なので買うのをためらった人もいるかもしれません。センターの蔵書としましたので、興味のある方は、手に取ってご覧ください。本書は約20か国語に翻訳され、住みよく持続可能な都市の指針となっているとのこと。



編集後記

■ちばさぽと出会って8年。また新たな年が始まりそう。笑顔を忘れずに (な) ■去年の年末は大掃除があまり捗らなかったの、この年度末に気合いを入れてやろうと思います。自宅もですが、職場のデスク周りを徹底的に片付けなければ。(は) ■春隣とか光の春とか、春がつくだけで心が弾みます。なるほどスプリングだけに・・・(や) ■もうすぐ年度末です。ひとつひとつ判断して断捨離をして、スッキリ新年度スタートしたいですね!(さ) ■「ちばさぽ通信」の編集にご協力ありがとうございます。これからも頑張ります!(か)